

おだわら

odawara day's

あしたに
つながる
ガスのある
暮らし
vol.04

花壇

かだん



特集
小田原提灯が
教えてくれたもの
未来を
照らす
灯り



にのまるすみやぐら
二の丸隅櫓を背景に灯された
小田原提灯、和の情緒が
あふれるイルミネーション。

未来を 照らす 灯り

かつて日本中の人に親しまれていた「小田原提灯」。旅人たちの足元を照らしてきた優れた灯り、その工夫や使い勝手のよさには感心させられます。循環型エコ社会だった江戸時代のベストセラー、小田原提灯には未来に通じる想いがありました。

先人のセンスに倣う

昔ながらの住まい方をモダンにアレンジする。古民家のリフォームもそのひとつですが、バブル時代の終わり頃、米国のサンタモニカから発信されたのがシャビーシックというライフスタイル。大人好みの洗練された古さ…そんなニユアンスの言葉ですが、日本流に考えると、そう白洲正子さんの暮らし方のような上質さ、大正から昭和のはじめ頃の和と洋、伝統的とモダンが混ざった雰囲気になります。

振り返れば小田原には、センスに溢れた先人たちが住んでいました。前号で取り上げた三茶人をはじめ、谷崎潤一郎や坂口安吾といった小田原ゆかりの文人墨客たち。その審美眼や生き方に一家言をもつ文化人の精神は、意図せずこの地に影響してきたように思えます。歴史や自然の恵みを活かした美味しい和洋菓子づくりなども、地元

Light of lantern,
Light to hope

おだわら
ライフスタイル
小田原提灯が
教えてくれたもの

社長室から
Masaki Hara



取締役社長
原 正樹

1971年生まれ。2014年に取締役社長就任後、ガス・電力など「総合エネルギー企業」への脱皮を図り、社内構造改革に取り組む。

お だわら花壇4号を手に取り
つてくださり、ありがとうございます。
今号の巻頭特集は、小田原文化
を代表する「小田原提灯」です。
江戸中期に生まれ、大人気を博し
た逸品を通して、究極の循環型社
会・エコシステムを作り上げた時
代に思いを馳せ、同時に我々が目
指すべき未来について考える契機
になればと思います。
小田原提灯が旅に携帯する目的
で作られたのは、栄えた宿場町な
らではの所以でしょう。従って、
耐久性や持ち運びのしやすさなど、
当時の職人達の知恵と工夫が活き
ています。また、火を灯した蠟燭

一緒に考えたい、未来のこと。

を回収し、リサイクルする仕組み
も確立されていたようです。
当然電気やガスもなく、鎖国政
策で貿易にも制限がありました。
人々は低い生産性の中で、自然由
来のエネルギーを元手に、できる
だけ物を大切に使うことで生活を
つないでいったのです。
我々は今も江戸時代の暮らし
に戻ることはできません。しかし、
SDGsが謳われる今日、限られ
た生活圏の中で互いが手を差し伸
べ合う定常型社会には、教えを請
うべき要素が詰まっている気がし
ます。本特集をお読みいただいた
皆さまと一緒に理解を深めること
ができれば嬉しく思います。

Contents vol.04

おだわらライフスタイル

01 小田原提灯が教えてくれたもの
未来を照らす灯り

04 小田原周辺地域に希望を灯し続ける
「湘南電力」ものがたり

知っておきたい暮らしの工夫

06 夫婦のこれからを楽しむ快適リフォーム

08 おだわらに出会う



オリジナルの文字を胴体書き込めばオリジナル提灯に。



市内にただ一軒残る老舗を守る山崎提灯店の五代目山崎高史さんとお母様。



小田原駅のシンボル「巨大提灯」づくりは、山崎提灯店の先代から当代の手へ。

への愛着や暮らしへのこだわりの現れかもしれません。

小田原に息づく精神

それは灯りの歴史にもつながります。石油ランプが登場する明治時代までは、日没とともに街全体が闇に包まれました。外出の際には提灯が不可欠。夜間の外出となれば提灯は必需品でした。江戸時代中期に小田原の甚左衛門という人の手で、箱根越えの旅人のために考案されたのが小田原提灯。雨風に強くて携帯もでき、旅のお守りにもなった提灯は、みるみる間に日本中に広がるベストセラーになりました。

この小田原提灯には、三徳といわれる特長があります。第一に丈夫なこと。蛇腹部分の太く平たく割いた竹ひごの糊付け面積が大きいため紙が剥がれにくい。第二にコンパクトなこと。旅に携帯できるように本体が小さくたためる。第三に魔除け。まげしの素材に南

白地の提灯に名前や日にちが書き込めるので記念になります。注文はファックスで受けることが多いですね。自筆だと名前の書き間違いが防げますから」

最近では、提灯をお求めのお客様の新しい使い方に驚くこともあるそうです。

「先日は一入キャンプに持ってきたという女性が来店されました。光源のロウソクのことを聞いて電池式の灯りをお勧めしています。お客様から意外な使い方、新しい考え方を教えられることもありますね」

また、旅の思い出づくりで親しまれているとも。

「二〇一五年の夏から星野リゾート 箱根のロビーや回廊に小田原提灯が飾られています。昨年はミニ小田原提灯に好きな絵や文字を描いて、オリジナルの提灯がつくられる企画にも協力させていただきました」

蛇腹の胴体を蓋（まげし）部分に収納できるので「懐提灯」とも呼ばれた。



足柄の大雄山最乗寺の霊木が使われました。この夜道を照らす優れた明かりが生まれた背景には、職人のこだわりや工夫があったはず。しかし、時代は白熱電球から蛍光灯、LEDへと移り変わりましたが、一方で提灯のアナログな魅力を見直す機会ともいえそうです。今ではただ一軒となった山崎提灯店を訪ね、小田原提灯について伺いました。

「最近では赤ちゃんの誕生日や奥様の誕生日のサプライズなど、お祝いに注文される方が多いですね。

それぞれが知恵を絞り、持ち前の技術を駆使して新しい価値を生み出した提灯。かつてはつくる人あれば修繕を生業にする職人さんたちもいました。修繕して使いきれば、竈にくべて燃やす環境に優しい道具でした。そこには伝統工芸品としての価値以上に、惜しみなく工夫を凝らす姿勢が感じられます。そんな気風が小田原の人たちに受け継がれている気がします。

未来を明るく照らすもの

SDGsという個人の手に余るような課題を前に、あらためて日々の暮らしの中で、自分でできることは何かを考え直す時期がきています。大人好みの洗練された古き、古民家再生のような懐かしさもモダンなスタイルが支持されるのも、普段の生活の中で無理なく取り入れられるから。小田原提灯を生んだこの地域には、新旧を問わずに私たちが見逃している魅力がまだありそうです。

小田原周辺地域に希望を灯し 続ける「湘南電力」ものがたり



街の灯りを二度と消さない
3.11の誓い

小田原周辺地域のために、地域に根差した事業を展開する湘南電力。会社を立ち上げたきっかけは、2011年の東日本大震災でした。福島第一原子力発電所の事故により、小田原でも計画停電が実施されました。賑やかだった街から、観光客の姿は消え、街全体が暗く沈んでいくようにみえました。街の将来への危機感が増すばかり。自前で電力を供給することの必要性を強く感じた瞬間でした。この時の衝撃をバネに、万一の危機にも動じないエネルギーづくりという新たな挑戦がはじまったのです。

地元愛の結晶から生まれました

自分たちで電力をつくることができれば、それまで電気を買うために支払っていた年間300億円ものぼる資金を地域を潤すことに使えます。この地で事業を営む

誰かのために何かをしたい。

今まであたり前と思っていた日常の尊さに気づいたせいでしょうか。そんな想いを抱く人が増えています。

毎日の暮らしの中で、気軽に参加できる地域への貢献活動があるのをご存じですか？

例えば、子ども食堂。小田原市では、食事の提供とともに、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを進めています。

わたしたちが毎日使う電気料金の一部が、こうした活動の支援に充てられるとしたら…。

素敵なことですよ。今すぐできる、地域や未来のためになるちょっと良いこと。

あなたにもはじめられることがあります。

想いを届けるお手伝い
子ども食堂とのつながり

子どもたちを見守り、育てるための地域の拠点、子ども食堂。湘南電力では、お客さまからお支払いいただいた電気料金の一部が支援金になる仕組みづくりを進めています。子ども食堂の支援に賛同した方々から、1年で500件ものご契約を結んでいただき、たくさんの笑顔を支える力になりました。この他にも、湘南ベルマーレの活動や、障がいのある方々を支えるNPO法人などを支援する「地域応援メニュー」を多彩に展開しています。

電気料金の一部が
地元の活動に
使われます



企業や、古くから暖簾を構える老舗など、熱い志を一つにする人々の間で気運は高まってきました。そしてついに38社からの出資をもとに創設したのが「ほうとくエネルギー」という発電を行う会社です。震災からわずか一年半後のことでした。その電力の調達や小売りを担っているのが湘南電力です。地域でつくり地域で消費する。地産地消のエネルギーは、こうして誕生したのです。

神奈川県内で
つくられ、使われる
電気です



明日へと続く希望のリレー

太陽光などの自然の力で発電す

る再生可能なエネルギーは、環境にやさしい反面、供給が不安定になりがちです。湘南電力では、電力を貯める蓄電池の普及を積極的に推進しています。

“走る蓄電池”ともいえる電気自動車にも注目。湘南電力の電気で走る車が増えれば、環境にもやさしい。防災時の身近な蓄電池として活用することもできます。こうした明るい未来への確かな取り組みを、さらに進めていきます。

この街と共に、人々と共に

今、電力会社は冬の時代を迎えています。世界的な燃料高騰の影響により、経営環境が悪化しているためです。しかし私たちはあきらめません。街に希望を灯し続けるために、電力会社として、今できることに挑戦し続けます。湘南電力に、小田原周辺地域の明るい未来を託してみませんか。

湘南電力の地域応援メニューの一部をご紹介します！

「湘南のでんき」は、お客さまよりお支払いいただいた電気料金の1%を様々な地域応援に活用します。

- 地域活性化 応援プラン
- 湘南ライフスタイル 応援プラン
- 湘南ベルマーレ 応援プラン
- 小田原市 応援プラン

「湘南のでんき」は、湘南電力(株)が提供する、神奈川県内のお客様を対象とした電力供給サービスです。(小売電気事業者登録番号A0177)

一般ご家庭・法人(低圧)のお客様

湘南のでんき お客さま窓口
☎050-2018-7795
10:00~18:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

法人(高圧)のお客様

湘南電力株式会社 受付窓口
☎0465-34-9105
9:00~17:00
(代表：土・日・祝日・年末年始を除く)

増えてきたお家の中の悩み

リフォームを終えたご自宅は築20年。お手入れが行き届いていてとってもきれいなIさんのご自宅。ご本人様のお話を伺うとリフォーム前のお風呂や洗面はあちこち傷んできており、2〜3年前からどうにかしたいというお悩みを抱えていたそうです。

例えば、お風呂場の一部が壊れてしまっていたり、洗面もまた扉のネジが外れてカビも気になるように…。

ショールームへ

娘さんがおうちを出られご夫婦の時間ができ、とりあえずショールームを見に行ってみようという話になったIさん。いざ実物を見てみると…

「いいなあ、やってみよう！」という気持ちの変化が。

ダイナシテイースト1階に

スにつけた、ちょうどよく手が届く扉が上がる収納※1がお気に入りとのこと。



※1 扉を開けたままでも邪魔にならないスイングアップ式収納は便利

これはショールームで見つけ「これこれこれが欲しい！」と思われたそうで「これがまた使いやすいのよ」ととても喜んでいらっやいました。当初予定になかったトイレリフォームは「トイレはいい機会だからとお願いしてみましたがにおいが全くなり



知っておきたい暮らしの工夫



夫婦のこれからを楽しむ 快適リフォーム

以前は洗面所に娘のものがたくさん溢れていたのよ。昨年10月まで一緒にお住まいだった娘さんのことをとても優しいお顔でお話しされるIさん。これから夫婦水入らずのタイミングでリフォームされたお気持ちと今のご様子をおうかがいしました。

ある小田原ガスのショールーム「エコリア」へは「場所も知っているし、お買い物ついでに」と足を運んでいただいたそうです。いろいろな打ち合わせを重ねる中でお風呂と洗面以外にも、この機会だからお風呂が気になっていたトイレのリフォームも壁紙や床の張り替えをセットで行うことになりました。

リフォーム後の快適生活

実際にリフォームをした感想をお伺いしてみると「以前は冬場シャワーを流してから浴室を温めて入っていたのに、リフォーム後はそれもなくて、ものすごくあったかくなりました。リフォーム前は寒くてもみんなこんなもんだらうと思っていたけれど、リフォーム後はこんなにも変わるのかと驚きました」と嬉しそうに教えていただきました。そんな新しくなったお風呂を

とても快適で、小花柄の壁紙とピンクの床は入るたびに気分が上がるし、いまはお気に入りの場所」とにっこり。リフォーム後の生活を、ご夫婦でとても楽しんでいただ

ご主人はとても気に入ったように、浴室で野球観戦ができる様防水のテレビを購入されたとの事です。またIさんは最新の給湯器を設置されたそうですが、お風呂のお湯張りや床暖房のスイッチをスマホから操作できる機能があるものにされたそうです。

実際に使ってみると、外出先から使うよりもリビングでゆったりくつろいでいる時に、わざわざお風呂場に行くこともなくスイッチが入れられるのはとても楽で、スマホへの設定も小田原ガスさんがやってくれたそうです。

最新機器は機能が多くて使いきれないイメージでしたが、使い方ひとつでいろいろな家事が楽になるんだと発見でした。また洗面はサイズ自体を大きくすることができ収納も増えたそうです。Iさん曰く、洗面の隣にある洗濯機の上の空きスペース

けているようです。

きれいになった箇所の写真をいっぱい撮って娘さんに送ったそうで、「(娘が)帰ってくるのを楽しみにしているのよ」とお話ししてくださいました。

Iさんお気に入りのお風呂とトイレと洗面化粧台

お風呂：タカラスタンダード「伸びの美浴室」
トイレ：TOTO「ピュアレストEX」
洗面化粧台：タカラスタンダード「ファミリー」

編集 MEMO



リフォームは大きな買い物ですがこのおだわら花壇をご覧の皆様も、なかなか思い切りがつかない方も多いと思います。そんな方にIさんからメッセージをいただきました。

Iさんからのメッセージ

ずっとずっと何年もやりたいけど、
どうしようかなあと思っていました。

でも思い切ってショールームに行ってみるのが大事。

ものを見てみるとこんな風に便利に

楽になるのかと、その場でわかります。

ぜひ皆さんショールームに行ってみてください！

来て・見て・触れて
住まいの体験型シヨールーム



エコリア
ecolia
神奈川県小田原市中里296-1
ダイナシティイースト1F
☎0465-46-0777



小田原漁港プリン 450円(税込)

水面のように揺れるブルーのゼリーは、どこか郷愁を誘うソーダ味。フィッシュゼラチン入りのミルクプリンのまろやかなコクに、赤いゼリーのおさかなの、ほのかな酸味が泳ぎ出します。

小田原漁港プリン

①小田原市早川1-28 漁港の駅 TOTOOCO 小田原1階
☎0465-20-6336 ②9:00~17:00
③無休。詳細は漁港の駅 TOTOOCO 小田原のHPをご覧ください。
<https://www.totoco-odawara.com/shop/shop05.html>

煮えたぎる曾我梅の卵 734円(税込)

なんとも勇ましいネーミングの「合戦づまみシリーズ」の一つ。梅の香りに誘われて、薄紅色に染まった卵をぱくりと頬張る。鯉や昆布の風味が口いっぱい広がって、思わずお酒が進みそう。

魚商 小田原六左衛門

①小田原市栄町1-1-15 ミナカ小田原1F
☎0465-20-4363
②10:00~20:00 ③無休。詳細はミナカ小田原のHPをご覧ください。
<https://odawara-rokuzamon.com/>



小田原提灯風鈴 寄木短冊付き 真鍮製 2,860円(税込) ※掛台別売り

耳に心地よい丸みを帯びた響き。小田原提灯を模した風鈴の音色は、慎み深く凜としたたずまい。その奥ゆきのある余韻は、意匠を凝らした寄木細工の短冊とともに、ふわりと風にそよぎます。

柏木美術鋳物研究所

①小田原市中町3-1-22 ☎0465-22-4328
②9:00~17:00 ③第2・4・5土曜のほか、日曜・祝日
<https://www.k-imo.com/>

◎ 新型コロナウイルスの発生状況により、臨時休業もしくは時短営業の場合がございます。
◎ お問い合わせの際は、各店舗へ直接ご連絡ください。

こころをほどく
こだわりの逸品



おはぎ(あん、ごま、きなこ) 各300円(税込)

直径9cm。餡の甘さが控えめ。上品な味わいです。ほどよくもちりとした食感に仕上げたもち米との相性も抜群。たっぷりの餡を包み込んだ、香ばしい「ごま」、「きなこ」の風味もまた格別です。

甘味喫茶 岡西

①小田原市栄町2-9-15 ☎0465-22-4067
②10:00~18:00(売り切れ次第終了) 【喫茶】12:00~17:30(L.O17:00)
③水曜・木曜

湘南ゴールドエナジー 250ml 206円(税込)

鮮やかな黄金色に輝く湘南ゴールド。希少価値の高さから幻のオレンジとも言われています。爽やかなフレーバーとやさしいのど越しでゴクゴクいける、新感覚のエナジードリンクです。

UMEMARU Inc. 農業部

☎0465-34-6423
一夜城ヨロイツカファームマルシェほか販売店多数。
<https://shonangold.base.ec/>



旬の果実のかき氷(いちご) 700円(税込)

選りすぐりの旬のフルーツを冷凍し、まるごと削っています。フルーツとの相性を極めつくした、自家製の練乳やシロップと一緒に、シルクのような繊細なくちどけを、ぜひ一度ご賞味あれ。

小田原ひととせの雪

①小田原市早川1-5-7
☎0465-22-0141
②季節により変動。
詳細はHPをご覧ください。
<http://www.hitotosenyuki.jp/>



寄せ木 DON 優 (Yuu) M サイズ 6,600円(税込) ※狐色(ケヤキ材)

材を無駄にしない、先人の知恵から生まれた、寄せ木の技法で作られています。底が厚いので、少量の料理でも見た目はボリューム満点に。おなかにもやさしい、温かみのある手触りの器です。

株式会社ラ・ルース

①小田原市桑原867-6 小田原木工団地内 ☎0465-38-0538
②10:00~17:00 ③土曜・日曜・祝日
※直営店 TAKUMI 館でも、お買い求めになれます。
(ハルネ小田原内) ④10時~20時
⑤無休。詳細はハルネ小田原のHPをご覧ください。



おだわら
Vol.04
に出会う

老舗の逸品に舌つづみを打ち、受け継がれる技のぬくもりに安らぐ。おだわらの古き良きものを訪ねて、思いがけない新しい発見に胸躍らせるひととき。この地で生まれ、育まれてきた豊かな時間をお愉しみください。

おうち時間を豊かに彩る"とっておき"をご案内

そして この地を育む チカラになる

私たち小田原ガスは

この地に住む人々の暮らしを住みやすく、より豊かに

心からそう願うこの想いは未来へ挑む

私たちの原動力です



都市ガスのことなら
小田原ガス株式会社 ☎0465-34-6101
[受付時間]9:00~17:30(土・日・祝休み)

プロパンガスのことなら
西湘ガス産業株式会社 ☎0465-35-0600
[受付時間]9:00~17:30(土・日・祝休み)

リフォームのことなら
ショールーム エコリア ☎0465-46-0777
[受付時間]10:00~18:30(月・年末年始休み)
[住所]神奈川県小田原市中里296-1 ダイナシティイースト1F

